

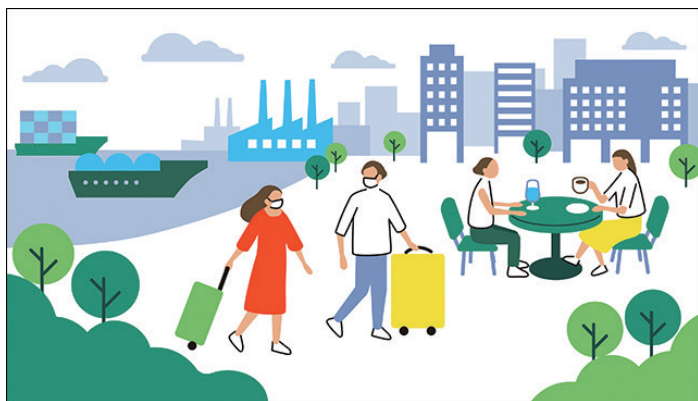


## 日本銀行のレポートから

日本銀行は、1月、4月、7月、10月の政策委員会・金融政策決定会合において、先行きの経済・物価見通しや上振れ・下振れ要因を詳しく点検し、そのもとでの金融政策運営の考え方を整理した「経済・物価情勢の展望」(展望レポート)を決定し、公表しています。また、2022年4月以降は、展望レポートの内容を、より幅広い読者に伝えるための取り組みとして、そのポイントをイラストとともに簡潔に整理した資料(ハイライト)を公表しています。本稿では、2022年4月の展望レポート(基本的見解は4月28日、背景説明を含む全文は5月2日公表)のハイライトをご紹介します。\*全文は、日本銀行ホームページに掲載されていますので、ご関心のある方は、ぜひそちらもご参照ください。<https://www.boj.or.jp/mopo/outlook/index.htm/>

### 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート・ハイライト)

2022年4月



#### 日本経済は回復に向かう

日本経済は、ウクライナ情勢等を受けた資源価格上昇により下押しされますが、感染症の消費や生産活動への影響が和らぎ、海外経済の成長や緩やかな金融環境、経済対策の効果にも支えられて、回復していきます。



#### 物価は上昇率を高めたあと減速する

消費者物価の前年比は、今年度は、世界的なエネルギー価格の大幅上昇からいったん二〇%程度まで高まりましたが、その後は減速します。エネルギーを除くと、今年度以降、消費者物価の前年比は緩やかに上昇していきます。



**感染症、ウクライナ情勢、  
市場動向に注意**

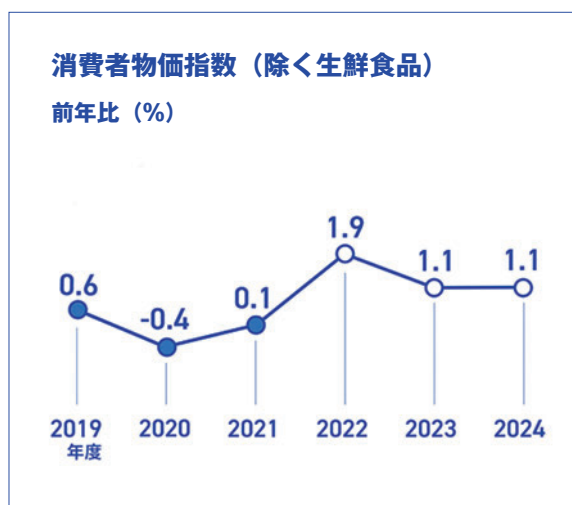
経済・物価見通しのリスク要因としては、感染症の動向、ウクライナ情勢の展開、資源価格・金融市場・海外経済の動向に注意が必要です。



**強力な金融緩和を継続する**

日本銀行は、二%の「物価安定の目標」の持続的・安定的な実現を目指しています。また、感染症からの回復を支援するため、資金繰り支援と金融市場の安定に努めていきます。

**政策委員の経済・物価見通し**



(注) ●は実績値、○は見通しです。